

評価の視点

評価のポイント

目的の妥当性
(事務事業の
根拠)

- 総合計画に位置づけられた施策と明確にリンクしているか。
- 市民へのサービス事務として明確な位置づけをもっているか。

緊急・必要性

- 需要（社会的ニーズ）の低下は見られないか。

公民の役割分担

- 採算性、代替性から見て行政以外での実施が可能ではないか。

成果・効果

- 投入されるコストや人目に対して十分な成果が上げられているか。
- 当初認定した効果が上げられているか。

効率性

- 事務事業の施行内容・手法が効率的に実施されているか。

総括

業務中止の影響

- 業務を中止することで著しい不都合が生じる可能性はないか。

総合評価

継続

業務内容の見直し

休止・廃止